

機械受注統計調査(令和8(2026)年4月実績)
結果の概要

—機械受注は、持ち直しの動きがみられる—
(基調判断据置き)

- 民間設備投資の先行指数である「船舶・電力を除く民需」は、4月は前月と比較して8.7%増加し、2か月ぶりの増加となった。
- また、3か月移動平均の前月比もプラス(前月比3.7%増)となっているものの、4月の増加は先月9.4%減少した後の単月の動きであることを踏まえ、基調判断は「持ち直しの動きがみられる」に据置きとした。



対前月(期)比

(単位: %)

需要者	期・月	2025年 (令和7年)			2026年 (令和8年)		2026年 (令和8年)			
		4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 見通し	1月 実績	2月 実績	3月 実績	4月 実績
受注総額		△4.0	3.5	10.2	10.3	△1.8	△2.0	△5.0	4.3	3.4
民需		4.3	△1.3	6.2	2.6	3.0	△5.5	△1.8	△5.3	5.8
〃(船舶・電力を除く)		0.6	△1.0	6.6	6.4	0.3	△5.5	13.6	△9.4	8.7
製造業		△0.4	5.3	△0.8	10.0	△0.9	△12.5	30.7	△14.2	5.1
非製造業(除船・電)		1.5	△4.4	11.3	6.2	1.9	6.8	0.9	△6.0	6.7
官公需		△26.4	△14.7	57.7	△21.3	9.0	△13.1	△19.0	△14.5	△0.9
外需		△2.3	14.5	3.6	31.0	△8.1	0.2	△5.1	31.0	△8.6
代理店		8.9	0.3	2.6	4.8	10.0	△3.0	7.2	6.9	1.4
民需(船舶電力を除く) 3か月移動平均		-	-	-	-	-	7.5	△0.9	3.7	-

- (備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. △印は減少を示す。
3. 見通しは2026年3月末時点の調査。